

■ 東アフリカの近代化プロセスを追う — 経済史・社会史・政治史を包括する文書群

英領アフリカ政府報告書集 ウガンダ 1903-1961 年 Uganda under colonial rule, in Government reports, 1903-1961

二重の医療制度と法制度をどのように発展させたのか



ウガンダは、ブガンダ王国とブニョロ王国を統合することで形成された植民地的な創造物でした。1894年にウガンダはイギリス帝国の保護領となり、イギリスの統治下に置かれました。本コレクションは、このウガンダ統治の詳細を探るための貴重な資料を提供します。コレクションには、ウガンダのさまざまな政府機関が作成した50,000ページ以上の進捗報告書が含まれています。

このコレクションは、イギリス外務・英連邦省の記録から収集されたものであり、イギリスによるウガンダの統治に関する豊富な情報を提供します。収録された文書の年代は1903年から1961年までであり、ウガンダが1962年にイギリスから独立する直前の時期までの資料が含まれています。

文書は9つのセクションに分けられており、それぞれ当時の異なる政府部門からの報告書で構成されています。各巻には、行政、財政、司法・警察、天然資源、社会サービス、運輸・公共事業、貿易・商業、開発公社・委員会、その他の報告書が含まれています。報告書の内容は各々異なり、ウガンダの教育、医療、住宅、会計、林業、農業、鉄道などのトピックが取り上げられています。

アフリカにおけるイギリスの植民地支配は、これまで多くの学術的研究の対象となってきましたが、本コレクションは特に、東アフリカの経済史だけでなく、社会史に関心のある研究者や学生にとって有益な資料となるでしょう。また、1962年の独立後にウガンダがどのように変化したのかを研究する上でも重要な資料となります。特に、毎年の報告書を詳細に調査することで、植民地政府の構造が時間とともにどのように変化したのかを明らかにすることができます。各報告書の冒頭には、当時存在していた政府部門の一覧も記載されています。

大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの**年間管理費 (Annual Hosting Fee)**は**不要**です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL:<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail:info@kyokuto-bk.co.jp





ウガンダ保護領の成立と統治(1894-1962)

ウガンダ保護領は、1894年にブガンダ王国とブニョロ王国を統合することで設立され、1962年までイギリスの統治下にありました。本コレクションに収められた記録は、ウガンダの政府統計を明らかにするだけでなく、それらの統計が示す数値の背景にある理由を説明する資料でもあり、歴史を探究する上で極めて貴重な情報源となっています。

これらの報告書は、ウガンダのさまざまな政府部門ごとに整理されており、各報告を比較することで、各部門が年月とともにどのように発展していったのかを知ることができます。

植民地統治下のウガンダ経済の変化

植民地時代のウガンダでは、経済システムが大きく変化しました。これは主に、イギリスの最優先事項が財政的利益であったためです。財政に関する巻を詳しく調査することで、長年にわたるこの変化の詳細を知ることができます。

司法制度と戦争の影響

司法関連の報告書には、その年に制定された新しい法律に関する情報が含まれています。また、本コレクションには第一次世界大戦および第二次世界大戦の時期に関する資料や、独立前の社会サービスについての記録も収められています。

■テーマ別に全 9 パートに整理されたアーカイブ

1. Administration, 1909-1961

20世紀初頭から、現地の自治機関(およびブガンダ政府)が特定の公共サービスの維持を担い、植民地政府のコミッショナーは主に監督的な役割を果たしていました。

地方行政官(District Commissioner)は、初期の段階から毎年の活動報告を提出していましたが、これらの報告書は公表されず、通常、植民地省(Colonial Office)にも送付されませんでした。このコレクションに含まれる地方総督(Provincial Commissioner)の現地行政報告は、1935年の報告から始まっています。これらは、地方総督が各地区の行政官から受け取った報告書を基に作成されたものです。

20
TABLE D
Analysis of Deaths Registered in 1950 by racial group and District

District	European		Indian		Cauc.		Arab		Other races		Totals	
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
Mengo	6	9	47	36	1	3	1	2	56	45	105	85
Makindu	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	6	5
Siaya	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Tana	1	1	12	15	1	1	1	1	1	1	17	19
Musa	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Karungu	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Adani	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Lango	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Ruguru	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Wakiso	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Hoima	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Wakiso	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Toro	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Arusha	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Kigezi	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
Totals	13	12	105	90	1	3	4	3	6	5	127	110

なお、1939年から1946年の間に、これらの報告書のタイトルが「Uganda Protectorate Reports」から「Reports on the Kingdom of Buganda, Eastern Province and Western Provinces」へと変更されました。これらの報告書は、主に現地行政の概要と警察制度に焦点を当てています。

2. Finance, 1929-1962

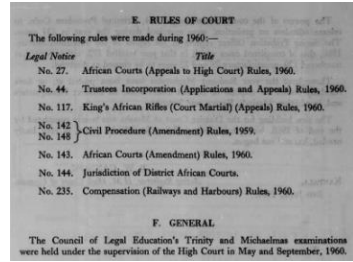
ウガンダの財務省(Treasury Department)、および信用・貯蓄銀行(Credit and Savings Bank)の記録は、現地で管理されていました。一方で、Auditor Generalとその部門は、Secretary of State for the Colonies に対して責任を負っていました。

これらの記録には、保護領の財政状況の報告、立法評議会でも可決された歳入・歳出見積もり、会計検査官部門による保護領の財政状況の報告、歳入・歳出見積もり、そして1950年以降のウガンダ信用貯蓄銀行に関する報告書が含まれています。

3. Judicial and Police, 1912-1960

ウガンダで司法権を行使する機関は、その時代や犯罪の発生地域によって異なりました。初期の時代には、アフリカ人の犯罪者は主に現地の伝統的な裁判所 (Native Courts) で裁かれることが多かったのに対し、非アフリカ人の犯罪者は、インドから輸入された植民地法に基づいて裁かれていました。

巡回裁判所 (Circuit Courts) は、辺境地域においては非効率的であることが判明したため、地方の判事がその地域において高等法院 (High Court) としての権限を持つことが認められました。この高等法院制度と現地の裁判制度が完全に統合されるのは 1964 年になってからです。

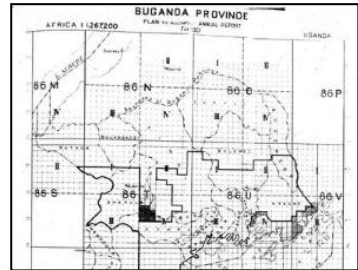


また、刑務所制度も裁判制度と同様にアフリカ人向けと非アフリカ人向けで分かれていました。現地の刑務所は地方行政官 (District Officers) が監督し、植民地政府の刑務所は植民地当局 (Colonial Authorities) が運営していました。

4. Natural Resources, 1903-1961

ウガンダ保護領政府は、財政的な自立を目指して天然資源の開発を重要課題として掲げていました。そのため、最初に設立された政府機関のひとつが植物学・林業・科学部門であり、これが後に農業、林業、獣医部門の母体となりました。

20 世紀初頭の最初の 10 年間で、政府は次々と新たな作物やプロジェクトの試験を行い、国外の専門家の助言を求めながら、タバコ、ゴム、蜜蝋、小麦、米などに投資しました。しかし、これらの多くの計画は成功せずに終わりました。



しかし、綿花とコーヒーの選択においては、政府は大きな成功を収めました。1907/8 年には、綿花の輸出額が 147,028 ポンドに達し、その重要性を認識した政府は綿花検査官を任命し、Department of Agriculture を設立しました。このパートには、さまざまな土地調査 (Land Surveys) に関する報告書も収録されています。

5. Social Services, 1908-1961

1920 年代初頭まで、ウガンダの教育は、政府からのわずかな助成金を除き、ほぼ完全に宣教団によって提供されていました。1925 年に Department of Education が設立され、宣教団と協力しながら、ミッション系学校の監査を行う役割を担いました。その翌年、政府はウガンダ保護領における教育政策の決定権を獲得しました。

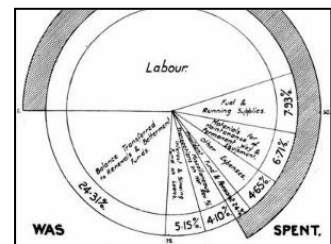
医療部門 (Medical Department) は、当初は政府職員向けの医療を主な任務としていました。しかし、20 世紀初頭に流行したアフリカ睡眠病 (トリパノソーマ症) の深刻な影響を受け、アフリカ人住民の健康管理にも関与するようになりました。1906 年には、睡眠病の調査と患者の治療を目的とした特別部門が設立されました。また、1946 年には植民地政府による広報活動が優先課題となり、「政府と国民間の情報伝達の役割を果たすこと」と「社会進歩および国民の物質的福祉を促進すること」が主な目的とされました。

1952 年の組織再編により、新たに Department of Information が設立され、その目的には「噂を打ち消し、破壊活動的なプロパガンダと戦うこと」や「ウガンダの国際的な広報活動を行うこと」が含まれました。新たな情報省は、それ以前の広報部門よりも統制を重視する機関となりました。

6. Transport and Public Works, 1912-1961

鉄道に関する記録は、1912 年にウガンダで設立された Uganda Railway Administration による運営から、1926 年に Kenya and Uganda Railways and Harbours Organisation が設立されるまでの期間を対象としています。後者の機関の本部はナイロビに置かれたため、本コレクションの対象からは外れています。

Department of Public Works は 1900/01 年に設立され、政府庁舎や主要道路の建設・維持管理を担当しました。また、政府の交通手段や水供給の管理も担っていました。

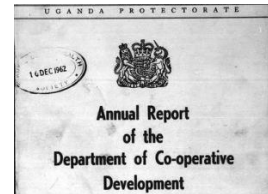


7. Trade and Commerce, 1910-1961

1901年から1909年にかけて、モンバサで徴収された関税収入はすべて東アフリカ保護領(East Africa Protectorate)の財源として充てられていました。しかし、1910年以降、ウガンダも関税収入の分配を受けるようになり、1912年には独自の関税部門を設立しました。この部門の責任者である Director of Customs は、毎年の貿易報告書を作成しました。

1917年には、ウガンダとケニアの関税部門が統合され、モンバサの Chief Commissioner of Customs が1948年まで両国の年間貿易報告書を発行していました。本コレクションには、1910/11年、1916/17年、1922年から1948年までの貿易報告書が含まれています。

1951年、ウガンダ政府は Department of Commerce を設立しましたが、1954年には Department of Trade へと改称されました。さらに1958年には、同部門は Ministry of Commerce and Industry に統合されました。これらの記録も本コレクションに含まれています。



また、国際連盟の協同組合アドバイザーであった W.K.H. Campbell が1944年に発表した報告書に基づき、1946年に農作物の販売を促進するための協同組合法が制定されました。この法律の施行を受けて、翌1947年には最初の年間報告書が発行されました。

8. Development Corporation and Boards, 1948-1961

第二次世界大戦後、ウガンダ政府は経済資源の集中的な開発を目的とした準政府機関を設立する政策を推進しました。この政策の集大成として、1952年に Uganda Development Corporation (UDC) が設立されました。これは、同年に制定された Uganda Development Corporation Act に基づいて設立されたものです。

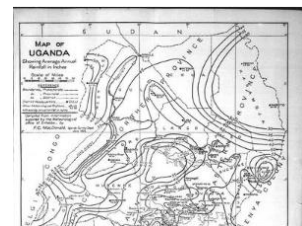
UDC の目的は、新規事業や産業開発プロジェクトを支援し、資金提供、管理、設立を促進することでした。また、ウガンダの工業、鉱業、農業の可能性に関する調査研究も行いました。さらに、1948年には Electricity Board が設立され、ウガンダにおける電力の発電・供給を管理しました。この委員会は、電力供給に関する独占的な権限を持っていました。

ウガンダの二大輸出作物である綿花とロブスタ・コーヒーは、二つの法定委員会 - Lint Marketing Board と Coffee Industry (or Marketing) Board を通じて販売されていました。Lint Marketing Board は1949年の Lint Marketing Board Ordinance によって設立され、一方 Coffee Industry (or Marketing) Board は1953年の Coffee Industry Ordinance によって設立されました。

9. Miscellaneous Reports, 1923-1961

Printing Department は1900年に設立され、保護領政府の出版物を制作する役割を担っていました。当初最も重要だったのは隔週で発行されるウガンダ官報で、とりわけ制定されたすべての法律が掲載されていました。

また、ウガンダの気象サービス、統計部門、郵便サービスはすべて国営サービスとして始まりました。しかし、年月が経つにつれて近隣諸国のサービスと統合され、最終的に East Africa High Commission の管轄下に入りました。



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp